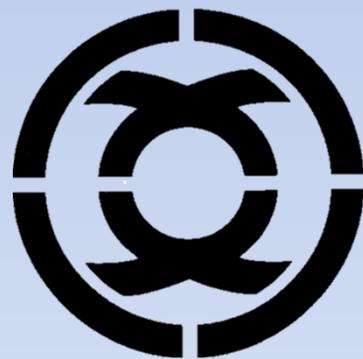


みんなで作ろう！

セーフコミュニティちちぶ

秩父市の概要



報告者 秩父市危機管理課長 宮前房男

秩父市の概要① 人口・地勢

人口: 66,073人

男: 32,296人

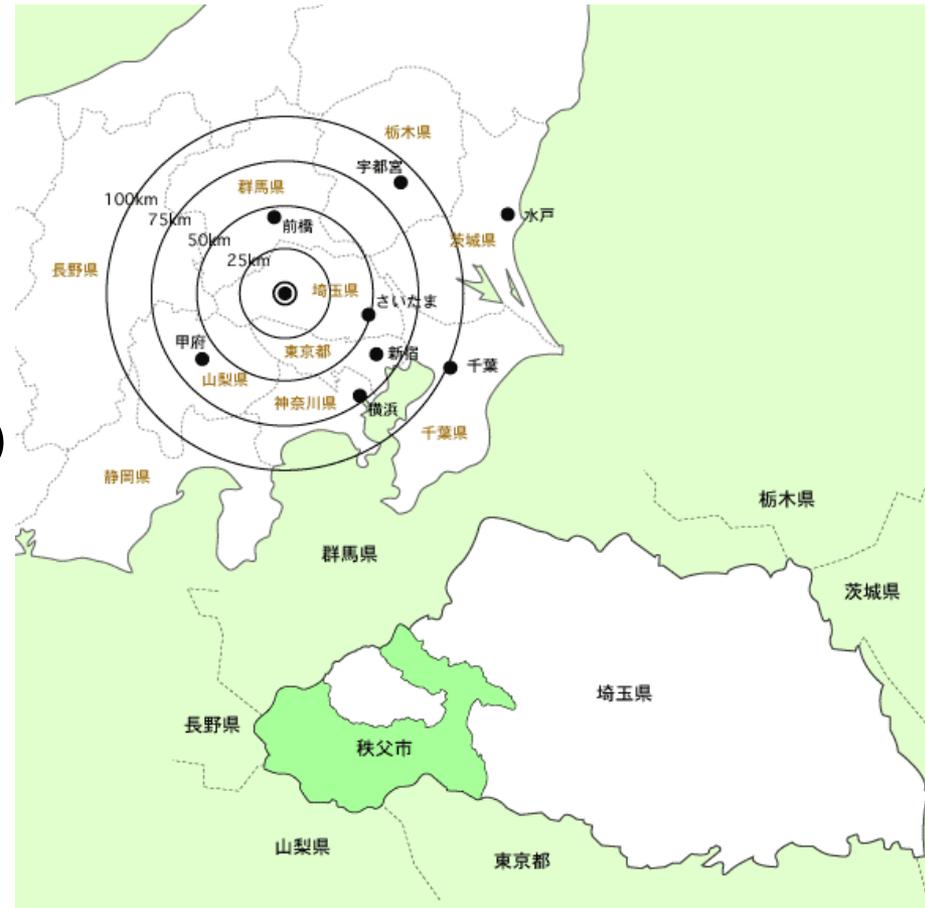
女: 33,777人

(2015年1月1日現在)

世帯数: 26,343世帯

面積: 578Km²

(埼玉県の約1/6)



秩父市の概要② 観光

観光：年間約400万人の観光客が来訪

豊かな自然環境、芝桜の丘(春)、龍勢祭り(秋)、
秩父夜祭(冬)、札所34観音、サイクリング、登山など

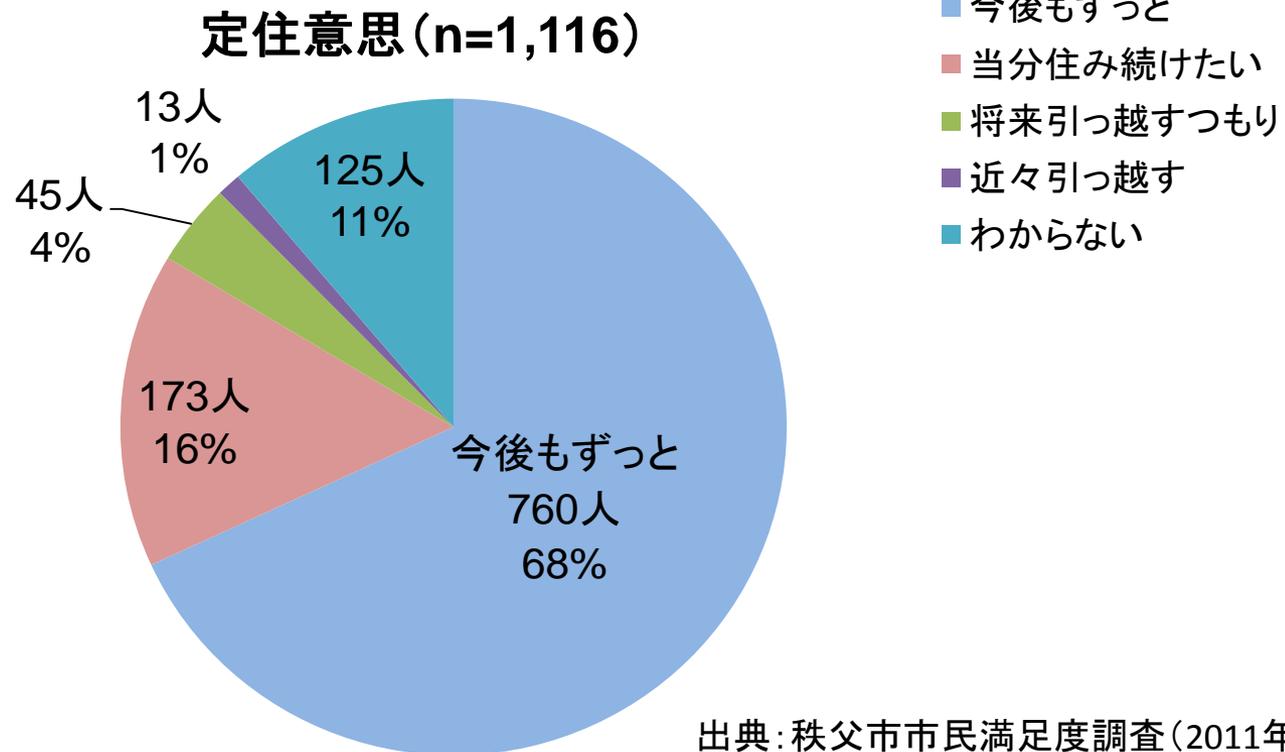




秩父市の概要③ 定住意思が高い

- ・約70%の市民が、今後もずっと住み続けたいと思っている。
- ・持ち家比率87.7%、居住年数20年以上83.6%
(2013年安心・安全なまちづくりアンケート)

図1

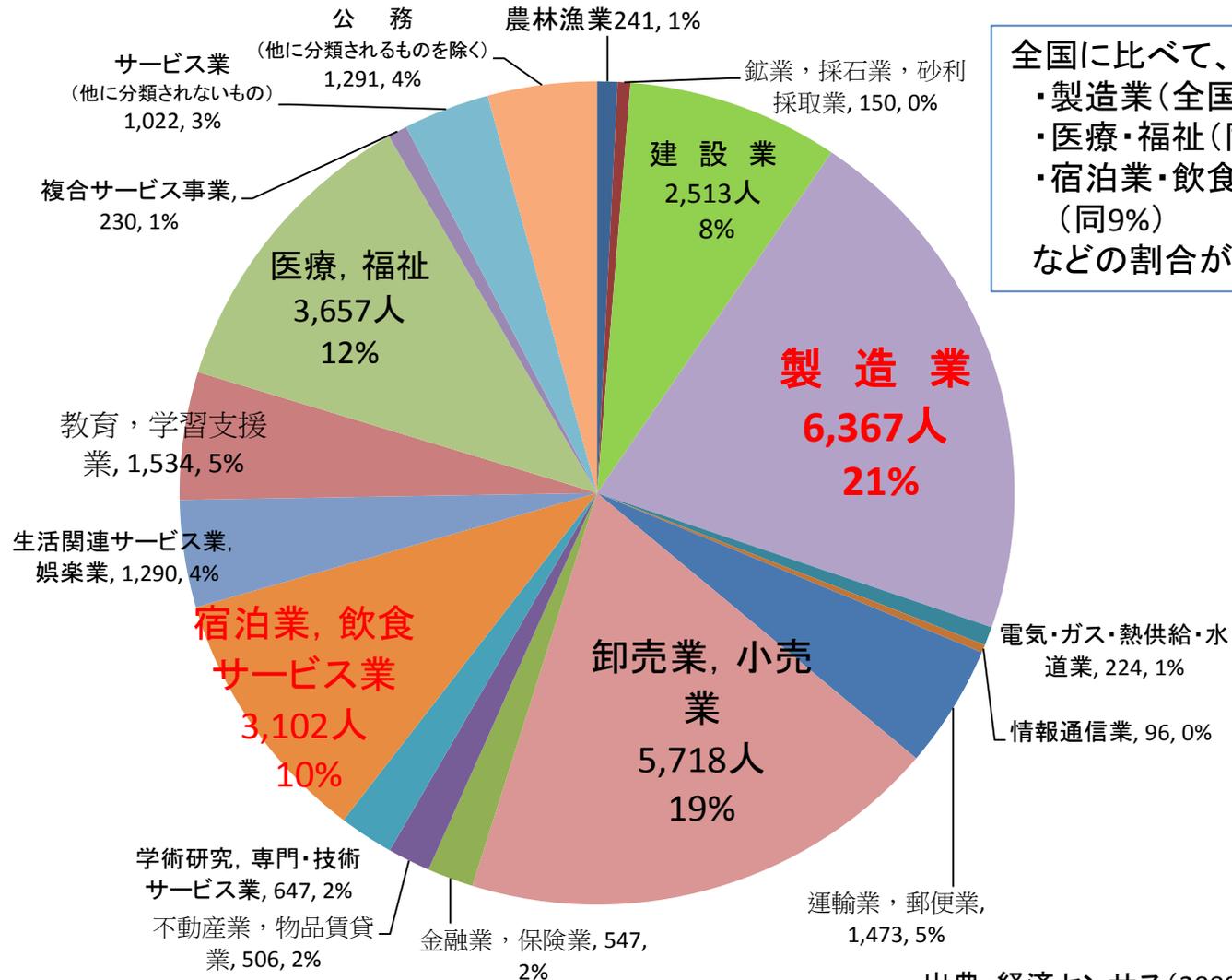


出典: 秩父市市民満足度調査(2011年)



秩父市の概要④ 産業構造

図2



全国に比べて、

- ・製造業(全国16%)
- ・医療・福祉(同10%)
- ・宿泊業・飲食業・サービス業(同9%)

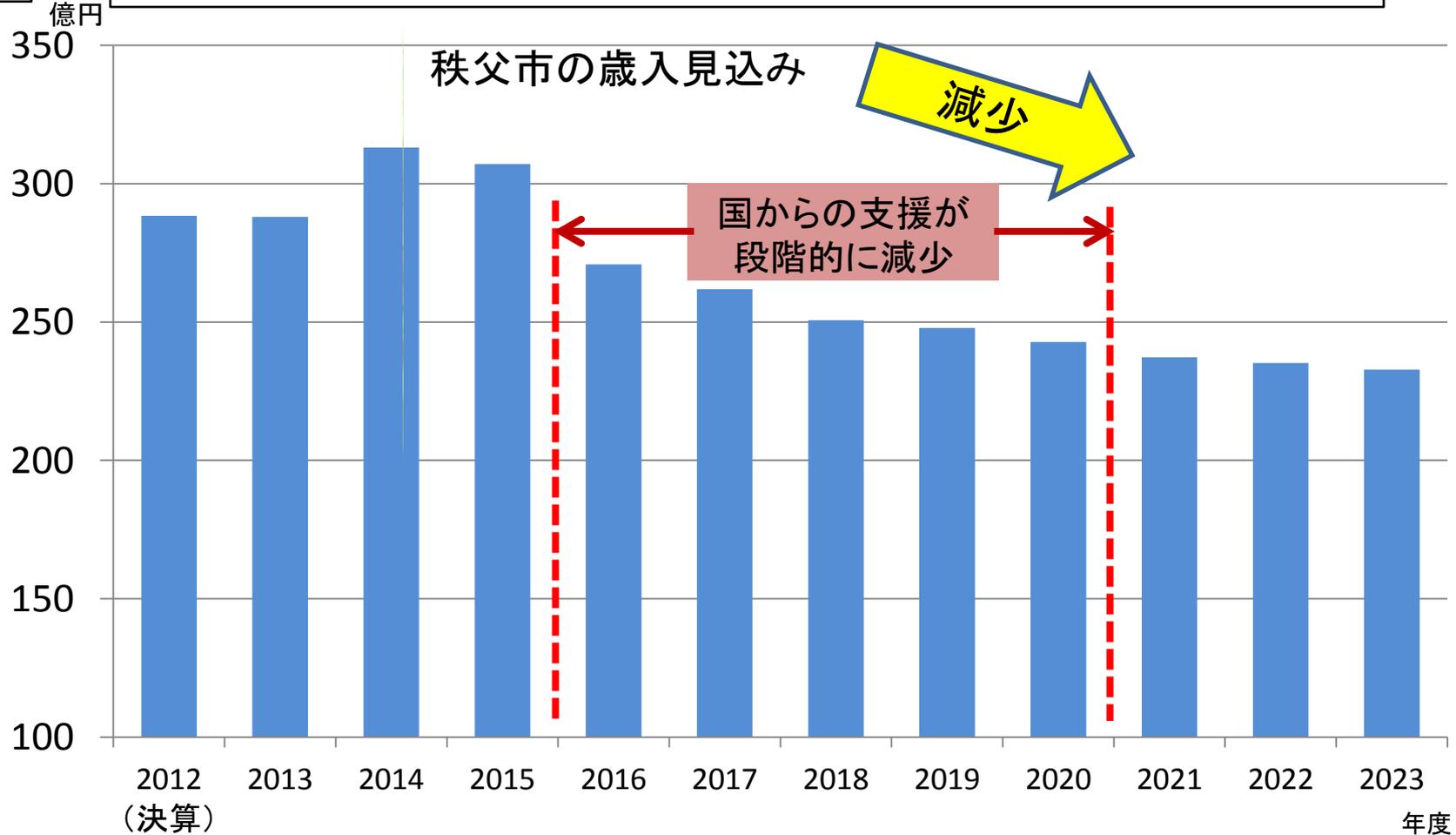
などの割合が高い



秩父市の概要⑤ 財政状況

図3

歳入は大幅に減少する見込みで、厳しい財政運営が求められている。



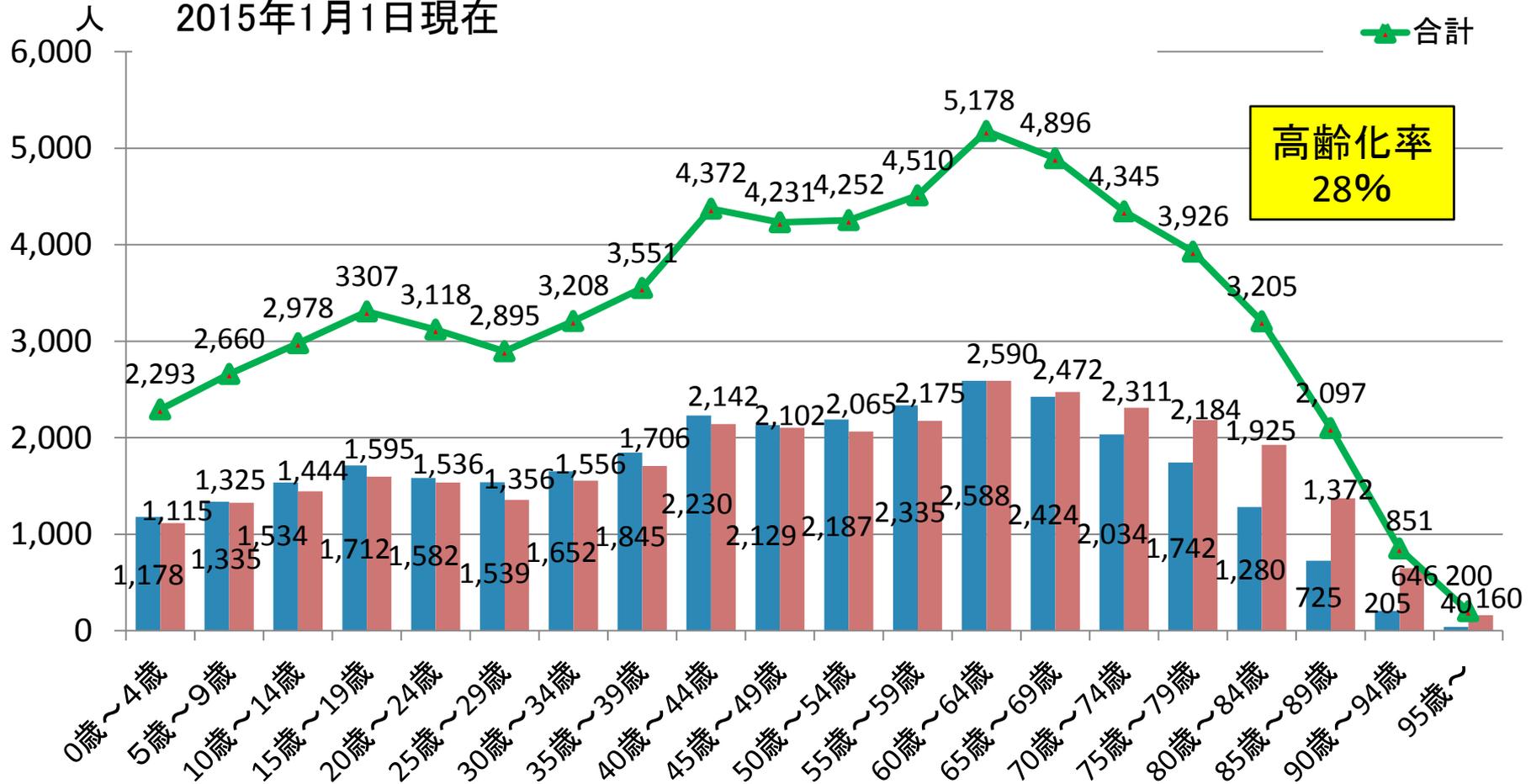


秩父市の概要⑥ 人口構成

人口は、60歳～64歳が最も多く、若い世代ほど少ない。

図4

秩父市の人口(年齢階層別・男女別)(n=66,073人)
2015年1月1日現在

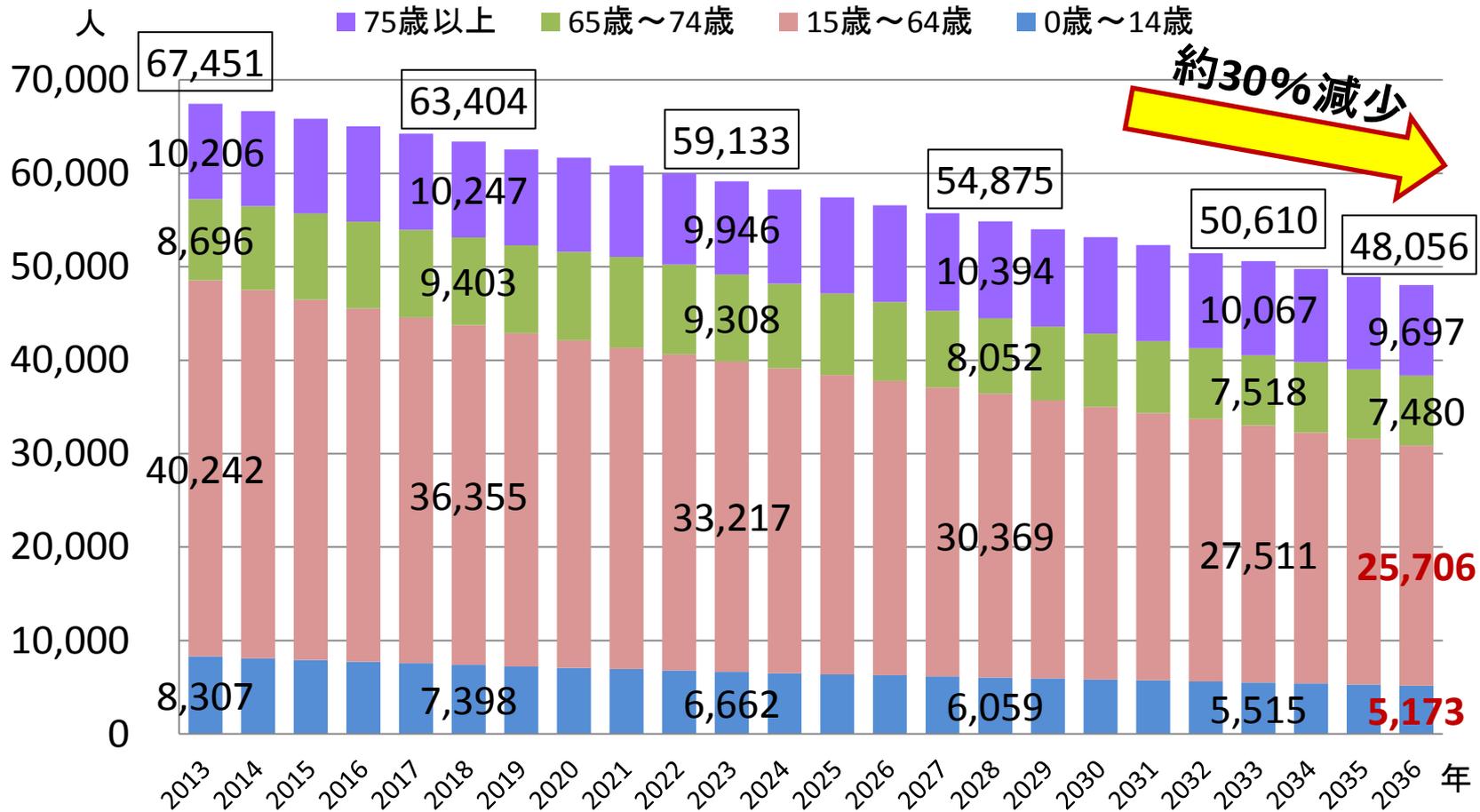




秩父市の概要⑦ 将来推計人口

秩父市の人口は将来的にも減少し続ける見込み。
20年後 ⇒ 若い世代は40%近く減少。高齢化率は約36%。

図5





秩父市の概要⑧ 外因による死亡(1)

表1

外因死は、子どもは「不慮の事故」、20歳代～60歳代は「自殺」が多い。

	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	窒息(2)	-	-	-	-
1～4歳	-	-	-	-	-
5～9歳	交通事故(2)	-	-	-	-
10～14歳	窒息(1)	-	-	-	-
15～19歳	交通事故、自殺(3)		-	-	-
20～24歳	自殺(4)	窒息、中毒(1)		-	-
25～29歳	自殺(3)	交通事故、転倒、他殺、その他(1)			
30～34歳	自殺(7)	交通事故(2)	-	-	-
35～39歳	自殺(8)	交通事故(2)	-	-	-
40～44歳	自殺(12)	交通事故(2)	中毒(1)	-	-
45～49歳	自殺(7)	中毒(2)	転倒、窒息、火災(1)		
50～54歳	自殺(8)	転倒(3)	交通事故、溺水、煙(1)		
55～59歳	自殺(12)	転倒(5)	火災(3)	交通事故(1)	-
60～64歳	自殺(9)	窒息(3)	転倒(2)	交通事故、その他(1)	
65～69歳	自殺(15)	転倒(4)	交通事故(3)	窒息(2)	火災(1)
70～74歳	自殺(6)	交通事故(5)	転倒、その他(4)		窒息(3)
75～79歳	転倒(11)	自殺(10)	交通事故、その他(4)		窒息(3)
80～84歳	窒息(13)	自殺(10)	転倒(9)	交通事故(6)	溺水(5)
85歳以上	転倒(27)	窒息(15)	自殺(10)	その他(6)	溺水(5)
全体	自殺(124)	転倒(67)	窒息(44)	交通事故(37)	その他(20)

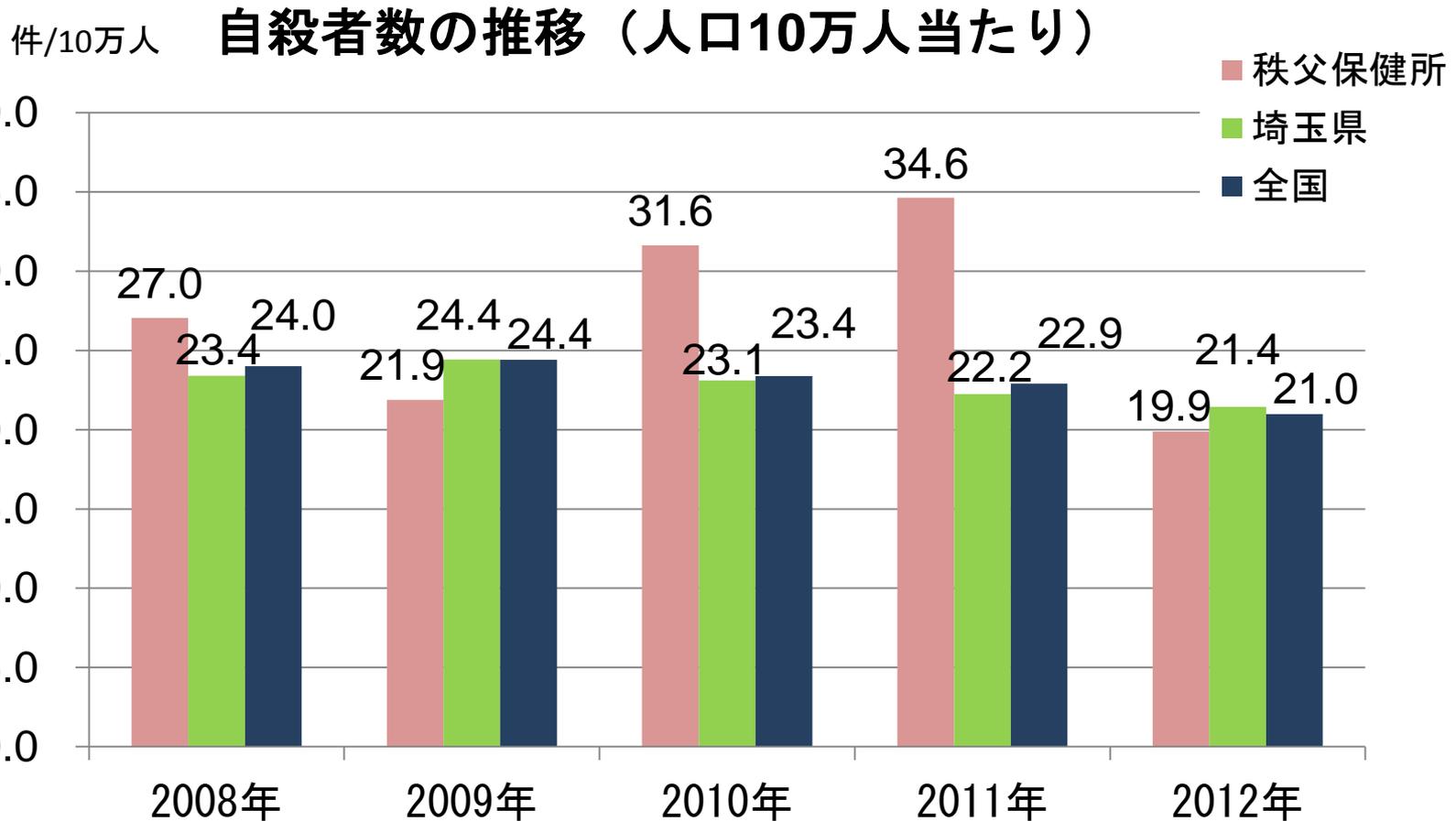
※()内の数字は、発生件数

出典：人口動態統計(2006年～2012年の合計)

秩父市の概要⑧ 外因による死亡(2)

自殺の発生率(2011年は34.6件)が、全国・埼玉県平均よりも高い。

図6



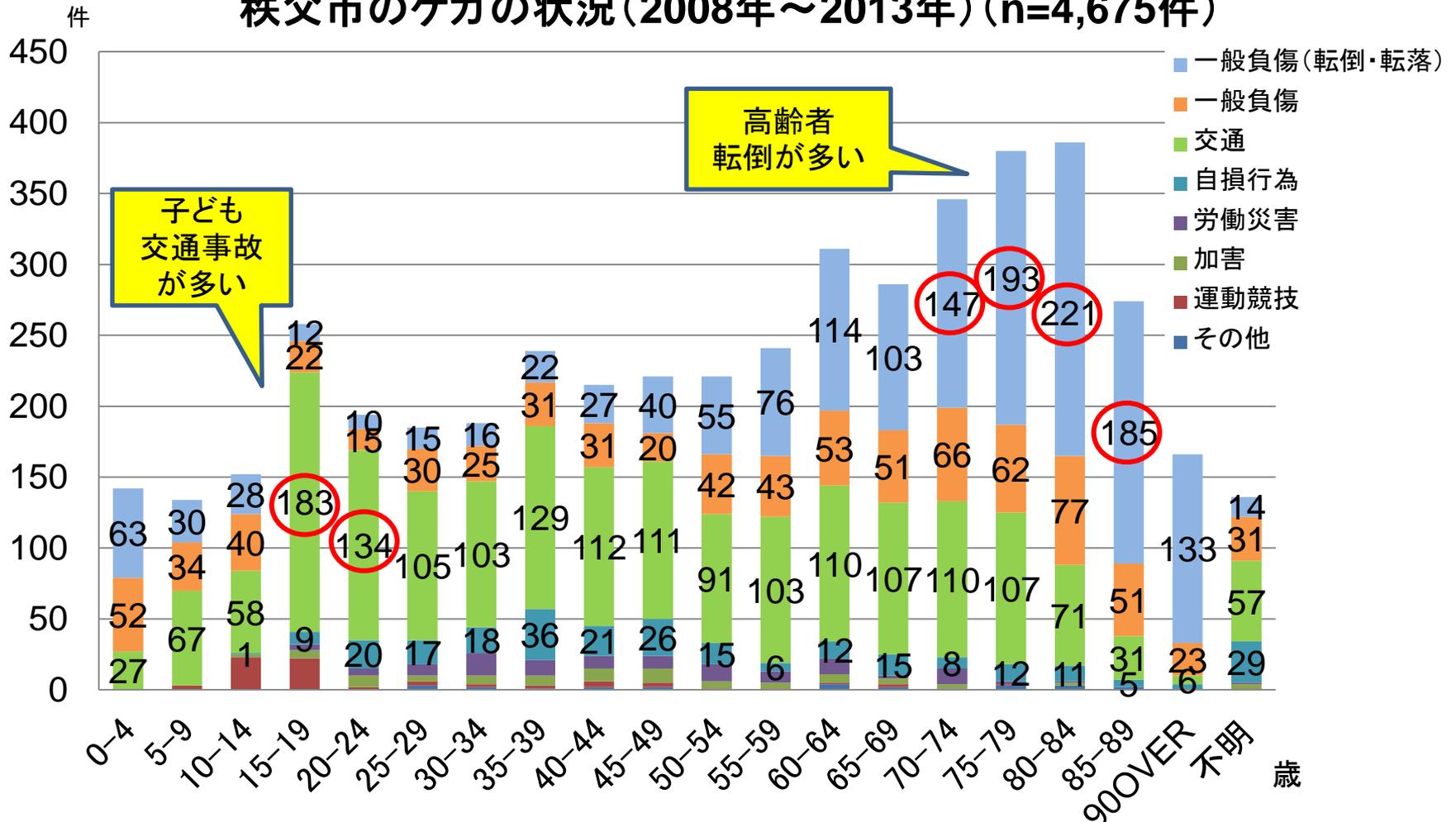


秩父市の概要⑨ 救急搬送の状況

図7

子どもは「交通事故」、高齢者は「転倒・転落」による搬送が多い。

秩父市のケガの状況(2008年～2013年)(n=4,675件)

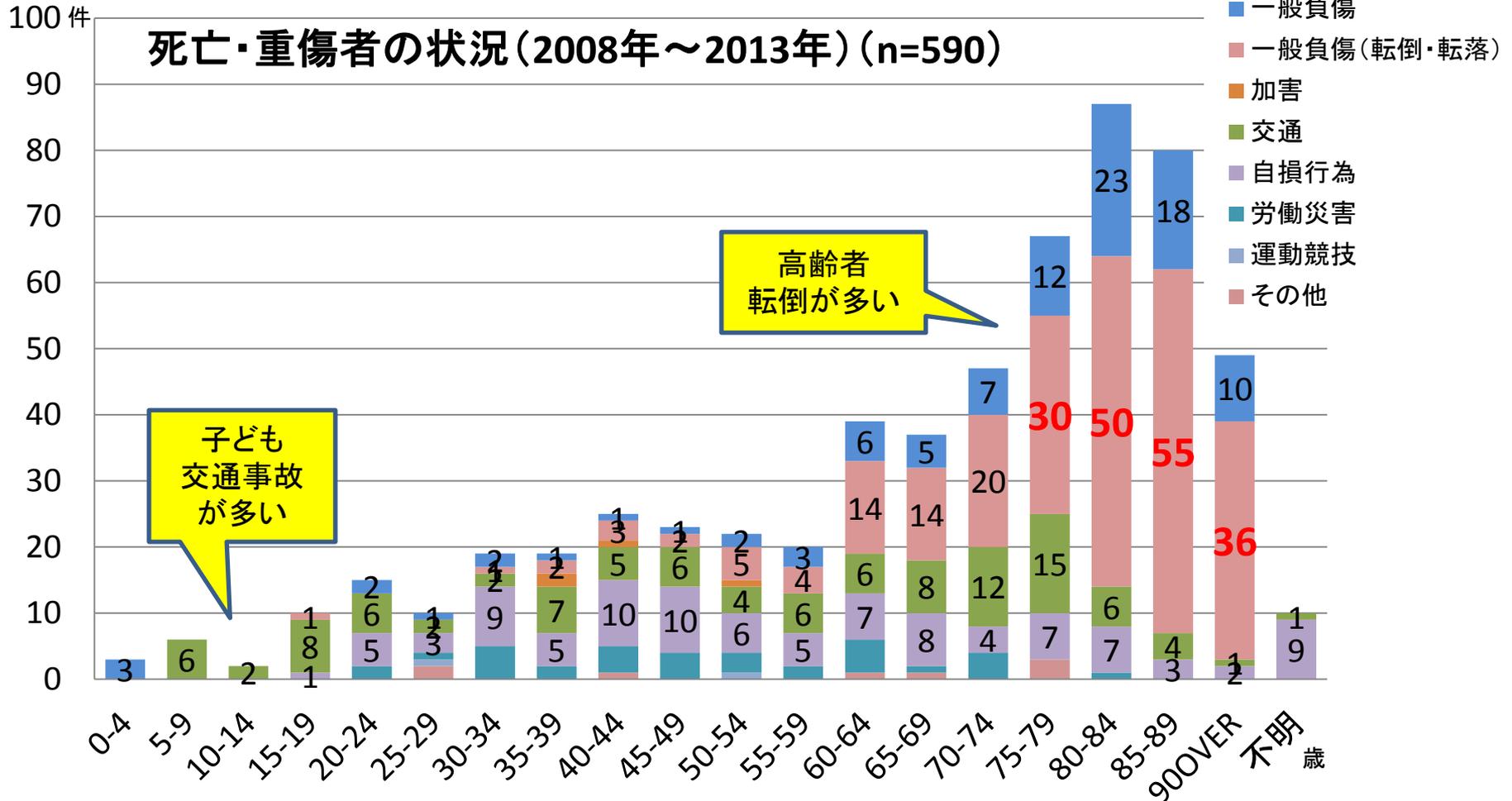




秩父市の概要⑩ 重傷搬送の状況

図8

重傷搬送も、子どもは「交通事故」、高齢者は「転倒・転落」が多い。



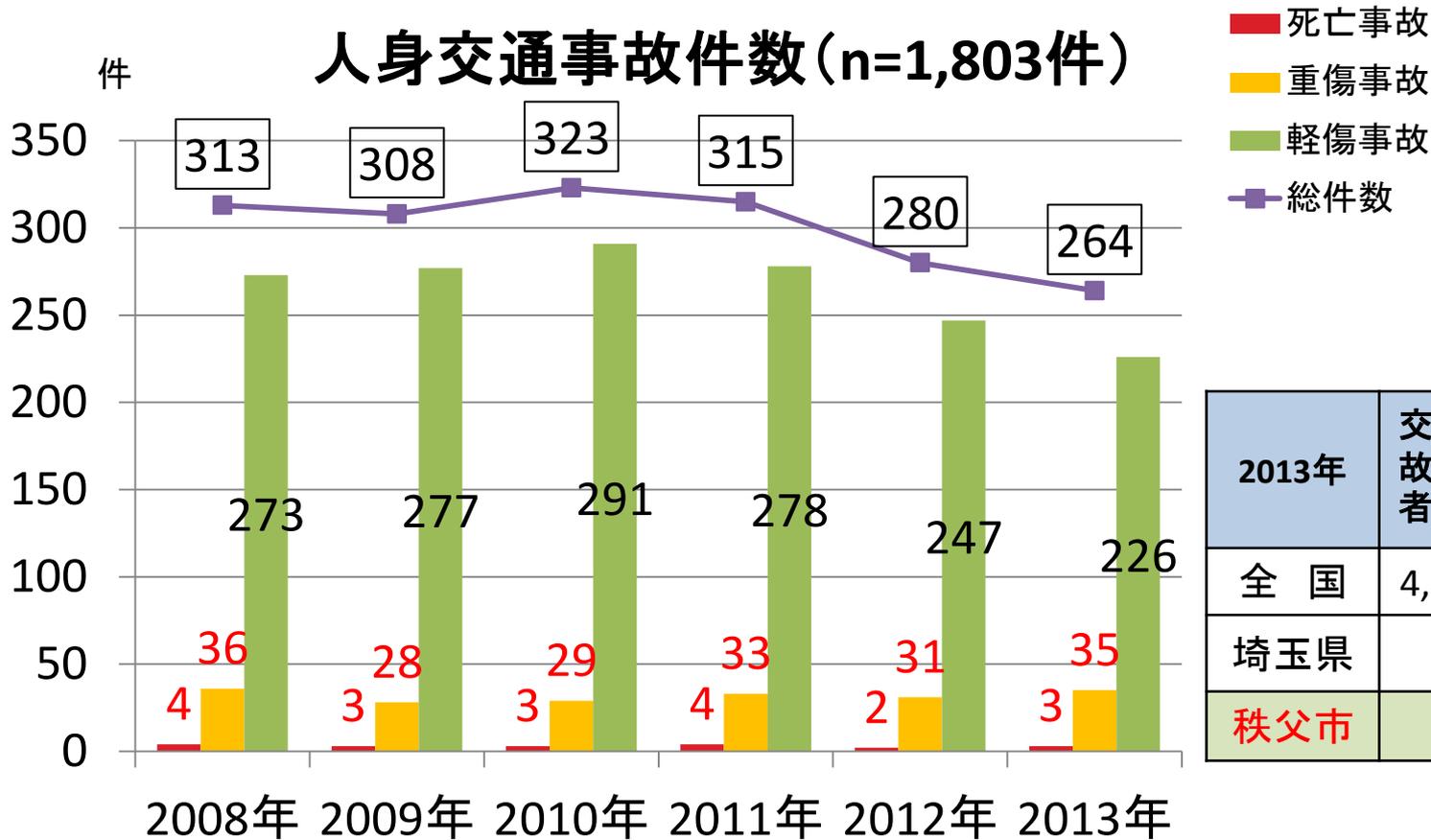


秩父市の概要⑪ 交通事故の状況

発生件数は減少しているが、死亡・重傷事故は減っていない。

図9

人身交通事故件数 (n=1,803件)



2013年	交通事故死亡者数	発生率 (10万人あたり)
全国	4,411人	3.5件
埼玉県	180人	2.5件
秩父市	3人	4.6件



秩父市の概要⑫ 犯罪の状況

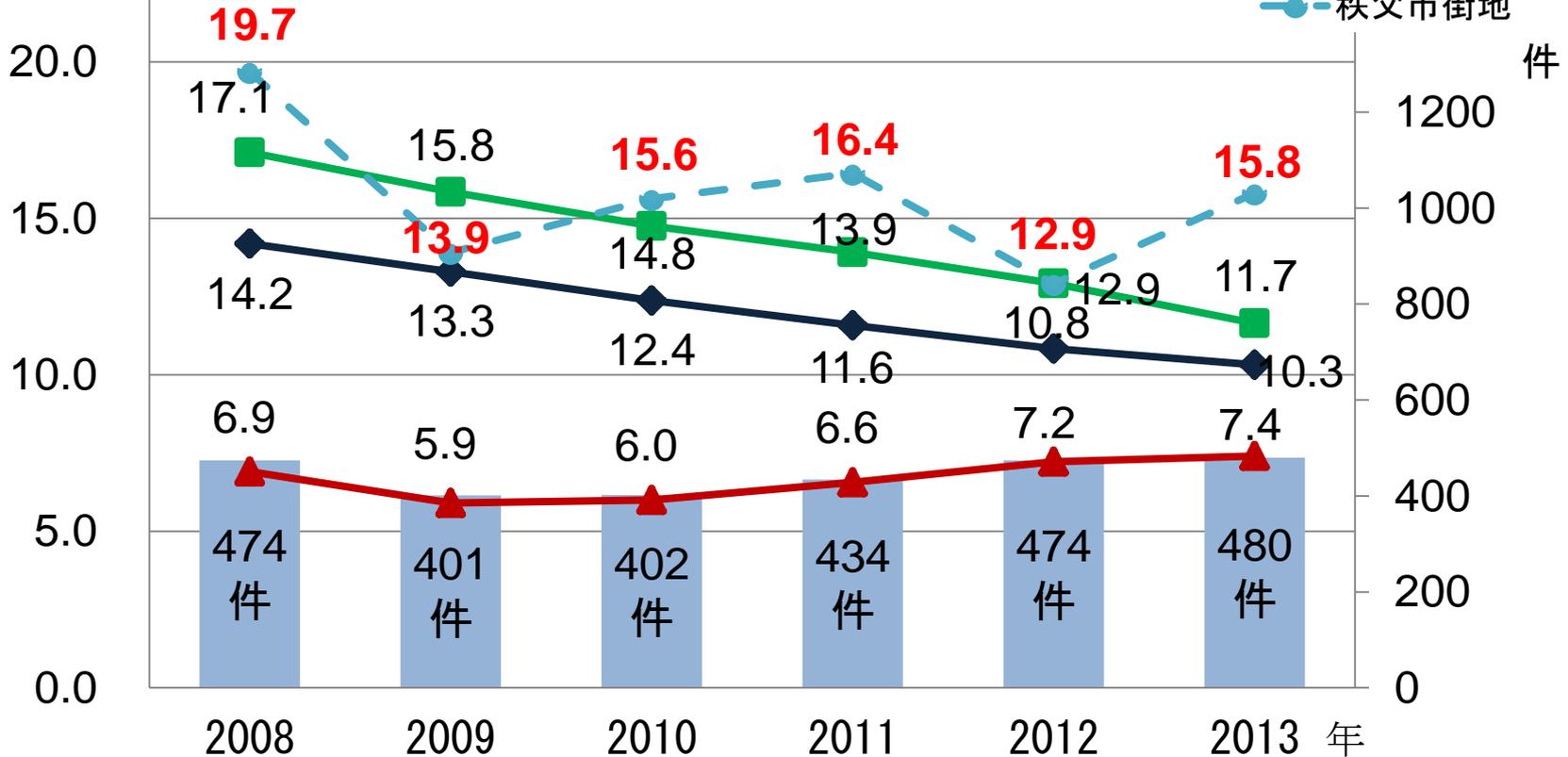
犯罪は、全国・埼玉県よりも低いが、やや増加する傾向。

図10

刑法犯認知件数（人口1,000人あたり）

件/1000人

- ▲ 秩父市
- 埼玉県
- ◆ 全国
- 秩父市街地



出典：警察統計



取組に至った経緯(1)

安心安全なまちづくりの推進

秩父市総合振興計画での位置付け

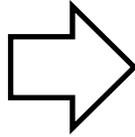
自然と人のハーモニー
環境・観光文化都市 ちちぶ



基本方針 ② 安全で住みたくなる「快適なまち」
基本方針 ⑦ 互いに助けあう「協働のまち」



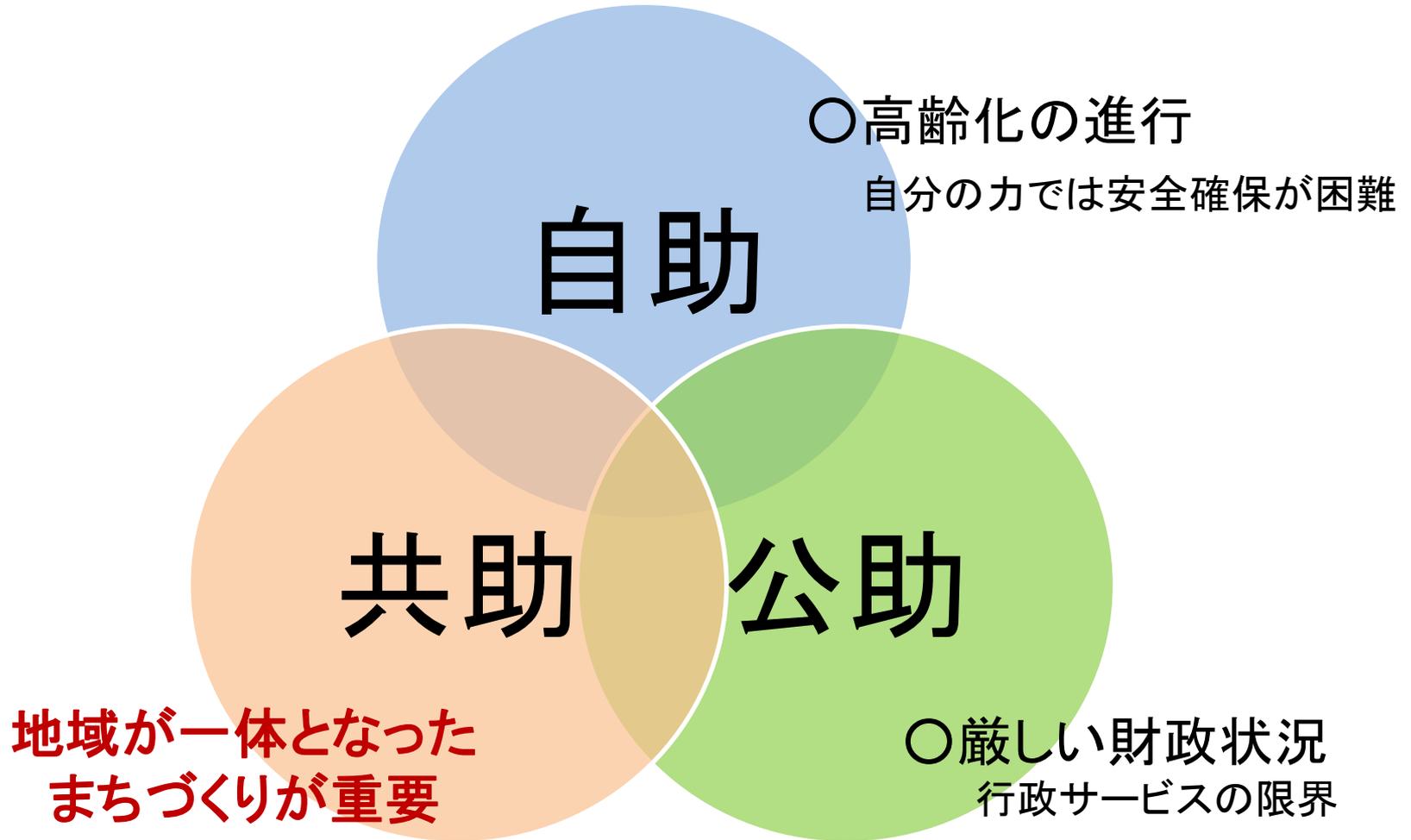
安全なまちづくりの推進
ともに築く市民参加のまちづくり



セーフコミュニティ
の推進



取組に至った経緯(2)



質の高い安心・安全なまちづくり

取組の経過

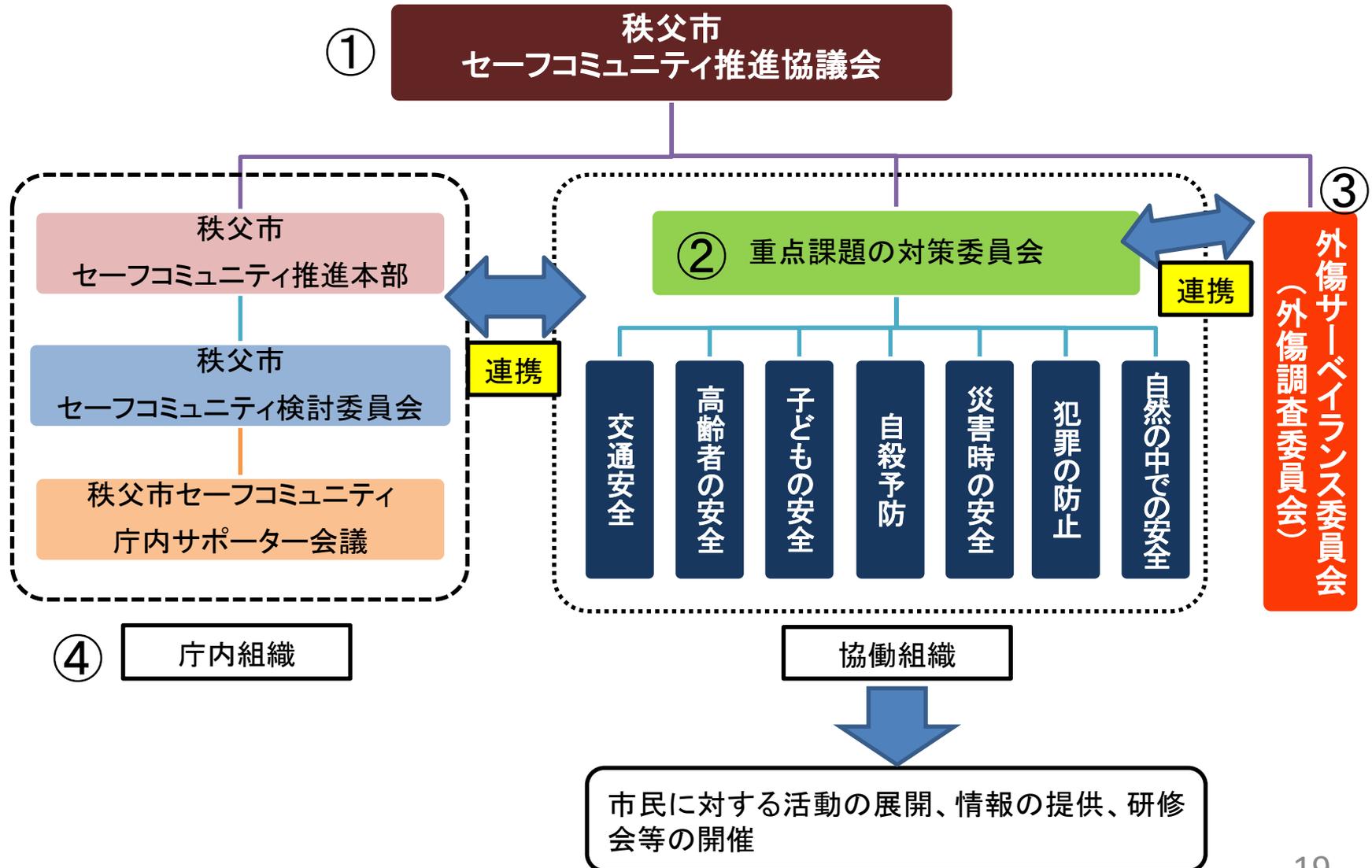
年 月	内 容
2012年 5月	SC調査・研究に着手
2012年 6月～	先進自治体を視察
2012年 9月	市議会において取組開始を宣言
2012年 11月	推進協議会を設置
2012年 11月	WHO協働センターに書簡伝達
2013年 7月	小学校2校、中学校1校がISSの書簡伝達
2013年 8月	対策委員会を設置(7委員会)
2014年 5月	アジア地域SC会議で市長が発表
2014年 5月	専門家による現地指導
2014年 6月～	各対策委員会における検討(15～16回)
2015年 5月	認証申請書を提出
2015年 7月	現地審査

7つの指標に基づく活動

1. 分野横断的な協働・連携の仕組み
2. 全ての性別・年齢・環境・状況を網羅する、継続的な予防活動の実施
3. ハイリスクグループの集団や環境に焦点を当てた予防活動の実施
4. あらゆる入手可能な『根拠』に基づいた予防活動の実施
5. 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み
6. 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み
7. 国内外のセーフコミュニティネットワークへの継続的な参加



指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み





指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み

①セーフコミュニティ推進協議会

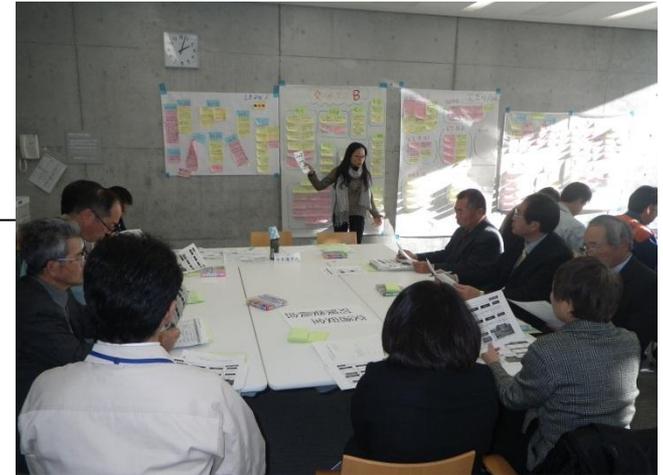
- 設 置：2012年11月設置
- 会 長：秩父市長
- 組織数：38団体
- 委員数：48人
- 役 割：
 - ①活動の基本方針の決定
 - ②活動の推進と情報の共有
 - ③活動の普及・啓発

指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み

②重点課題の対策委員会

- 設置: 2013年8月設置
- 構成:

①交通安全	11人	
②高齢者の安全	16人	
③子どもの安全	16人	
④自殺予防	23人	
⑤犯罪の防止	15人	
⑥災害時の安全	18人	
⑦自然の中での安全	13人	計112人
- 役割: 具体的な取組みの検討、実施、評価





指標2 全年齢・環境を網羅する予防活動(一部抜粋)

		子ども	青年	成人	高齢者
生活環境	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達支援巡回 乳幼児健診 啓発パンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・生活支援相談 糖尿病教室 障がい者相談 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・生活支援相談 糖尿病教室 障がい者相談 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいコール事業 介護予防事業 緊急通報システム事業
	学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の安全点検 子ども110番の家 AEDの設置、講習会 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動 救急・AED講習会 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動 	
	職場		<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労支援 労働災害防止 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労支援 労働災害防止 	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害防止
	交通(公共)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 登下校の見守り 交通安全運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動
	余暇	<ul style="list-style-type: none"> 子供向け水泳教室 AED講習会 熱中症予防講習会 	<ul style="list-style-type: none"> 救急・AED講習会 施設の安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 救急AED講習会 施設の安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> シルバースポーツ大会 救急AED講習会
意図的	暴力	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待への対応 DV等の対象発見と相談実施 	<ul style="list-style-type: none"> DV相談 暴力排除事業 	<ul style="list-style-type: none"> DV相談 暴力排除事業 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待相談 暴力排除事業
	自殺		<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 予防パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 多重債務の相談 ゲートキーパーの養成 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 ゲートキーパーの養成
災害		<ul style="list-style-type: none"> 保育所、学校等での避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所の設置 各公共施設での避難訓練 自主防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所の設置 各公共施設での避難訓練 自主防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者登録台帳の整備 自主防災訓練

指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた 予防活動

番号	グループ
1	先住民
2	低所得層
3	コミュニティにおけるマイノリティ
4	犯罪被害や自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人
5	虐待を受ける女性・男性・子ども
6	精神的疾患・発達障害及び他の障がいをもつ人
7	安全でないスポーツ、余暇活動に参加している人
8	ホームレス
9	自然災害において外傷のリスクにある人
10	特定の道路や交差点、水害被害想定地などハイリスクの観光の近くで生活したり働いたりしている人
11	宗教、民族および性的な嗜好によりハイリスクにある人

・ 地域診断を基に
ハイリスクグループ
の抽出。
(身体障がい者、
土砂災害危険地域
の住民など)

・ 既存の取組の整理と改善
及び新規取組みの検討

指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた 予防活動

番号	グループ	現状と取組み内容
2	低所得層	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度を活用し、一定の要件を 満たした低所得者世帯に最低限度の生活を保障するため保護費を支給している。2015年3月31日現在、545世帯が受給している。生活保護率は、%。 ・就学援助制度を活用し、一定の要件を満たした低所得者層に学校教育に必要な学用品費等の一部を補助する。2015年3月31日現在、小学生258世帯、中学生169世帯が受給している。
6	精神的疾患・発達障害及び他の障がい有する人	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障がいの舗装具費の支給、視覚障がい者の送迎、外出の介助等の生活サポート、日常生活用具の給付・貸与による 支援等を行っている。 2014年3月31日現在、身体障がい者が2,521人、知的障がい者が503人、精神障がい者298人に対し支援を実施。



指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた 予防活動

番号	グループ	現状と取組み内容
9	自然災害において外傷のリスクが高い人及びリスクの高い環境	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害や地震などの災害発生時における要援護者(単身高齢者や障がい者など)リストを作成(民生委員による)し、支援している。 ・山間部や急傾斜地など、土砂災害が発生する可能性が高い場所が839箇所ある。危険度の高い箇所には、対策工事を実施する。また、土砂災害ハザードマップの作成、配布により周知を行っている。各地域では、自主防災訓練を実施している。



指標4 あらゆる入手可能な『根拠』に基づいた予防活動

情報収集

- ・人口動態統計
- ・警察データ
- ・救急搬送データ
- ・各種アンケート調査等

地域診断結果

- ・救急搬送の約40%は、交通事故。
・死亡事故件数が減っていない。
- ・65歳以上の高齢者人口が年々増加し、単身者も増加。
・高齢者の救急搬送割合が高い
- ・学校内、自宅でのケガが多い
・自転車での事故が多い
- ・外因による死亡の第1位が自殺
・全国、埼玉県と比較し、自殺発生率が高い
- ・犯罪件数は少ないが減っていない。
・中心市街地での犯罪発生率は、埼玉県平均並み
- ・自然災害に対する不安を感じている市民が多い。
・大雪による災害が発生し、多くの集落が孤立した。
- ・登山・ハイキング中の事故が多い
・農器具を使用中の事故が多い

重点課題設定

交通安全

高齢者の安全

子どもの安全

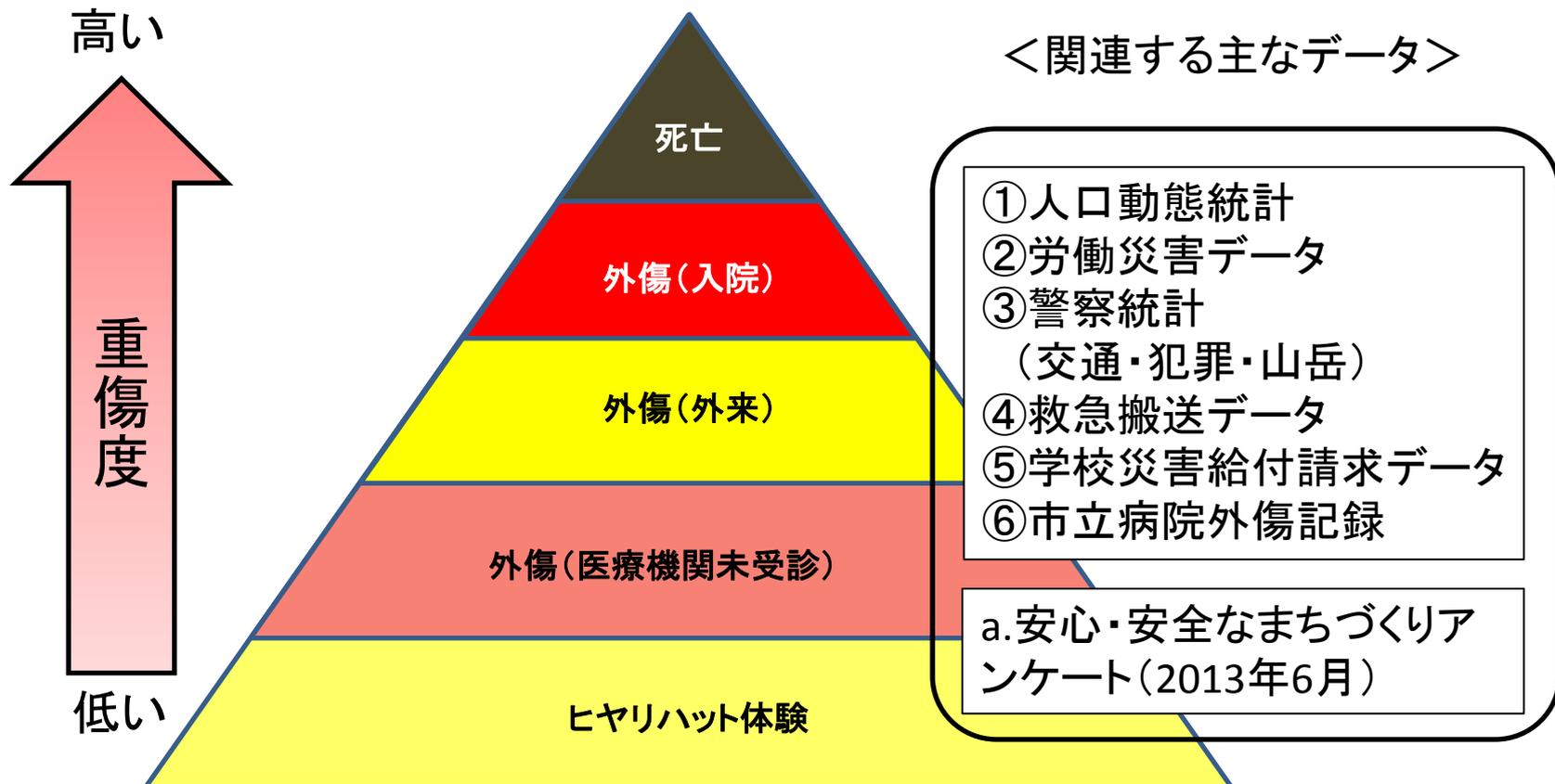
自殺予防

犯罪の防止

災害時の安全

自然の中での安全

指標5 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み



指標5 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み

<収集している統計情報>

人口動態統計や救急搬送データなどの既存の統計情報を利用して、外傷の発生状況を系統的に収集している。

No	統計等の名称	実施主体	使用する情報
①	人口動態統計	厚生労働省	死亡原因、自殺情報など
②	労働災害データ	厚生労働省	労働災害に関する情報
③	警察統計	警察庁	交通事故、犯罪に関する情報
④	救急搬送データ	秩父消防本部	事故やケガによる救急搬送情報
⑤	学校災害給付請求データ	日本スポーツ振興センター	小中学生のケガの情報 (1件5,000円以上のケガ)
⑥	市立病院外傷記録	市立病院	外来・入院患者の外傷記録



指標5 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み

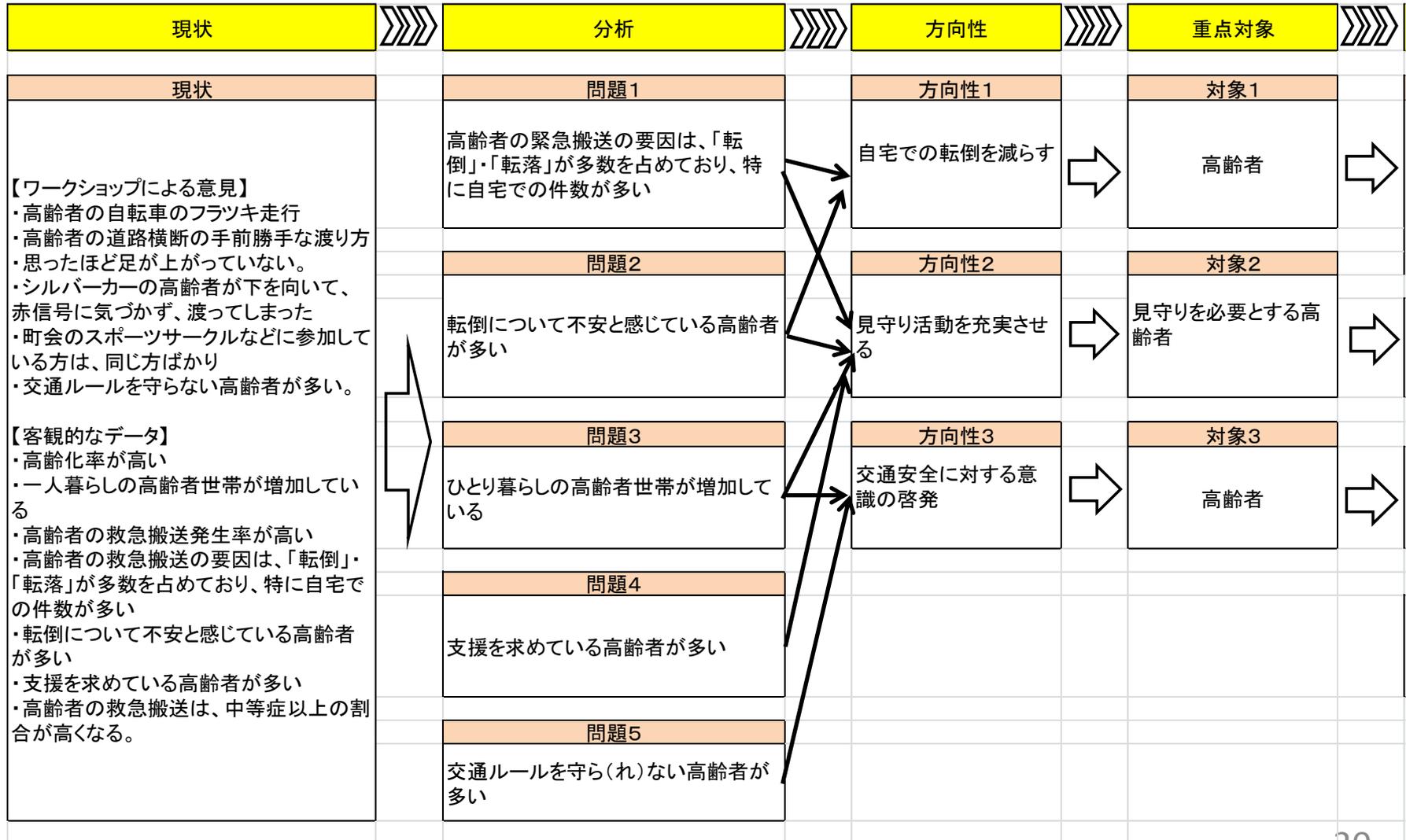
セーフコミュニティへの取組みにより、既存データの継続的な収集を開始。
 既存データでは把握できないヒヤリハットのデータは、独自調査により補完。

頻度	名称	交通安全	高齢者の安全	子どもの安全	自殺予防	災害時の安全	犯罪の防止	自然の中での安全	所管
毎年実施	①人口動態統計	●	●	●	●	●	●	●	保健所
	②労働災害データ	●			●	●		●	労働基準監督署
	③警察統計	●	●	●	●	●	●	●	警察
	④救急搬送データ	●	●	●	●	●	●	●	消防
	⑤学校災害給付請求データ			●					教育委員会
	⑥市立病院外傷記録	●	●	●	●	●	●	●	市立病院
	A.市民満足度調査	●	●	●	●	●	●	●	市
3年毎実施	B.介護保険2次予防事業対象者把握調査		●						市
	D.地域福祉に関する市民意識調査		●		●	●			市
	E.障がい福祉アンケート		●		●	●			市
	F.子育て支援ニーズ調査			●		●	●		市
	a.安心安全なまちづくりアンケート	●	●	●	●	●	●	●	市



指標6 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み

＜対策委員会の取組みモデル①＞【例】高齢者の安全対策委員会（一部抜粋）



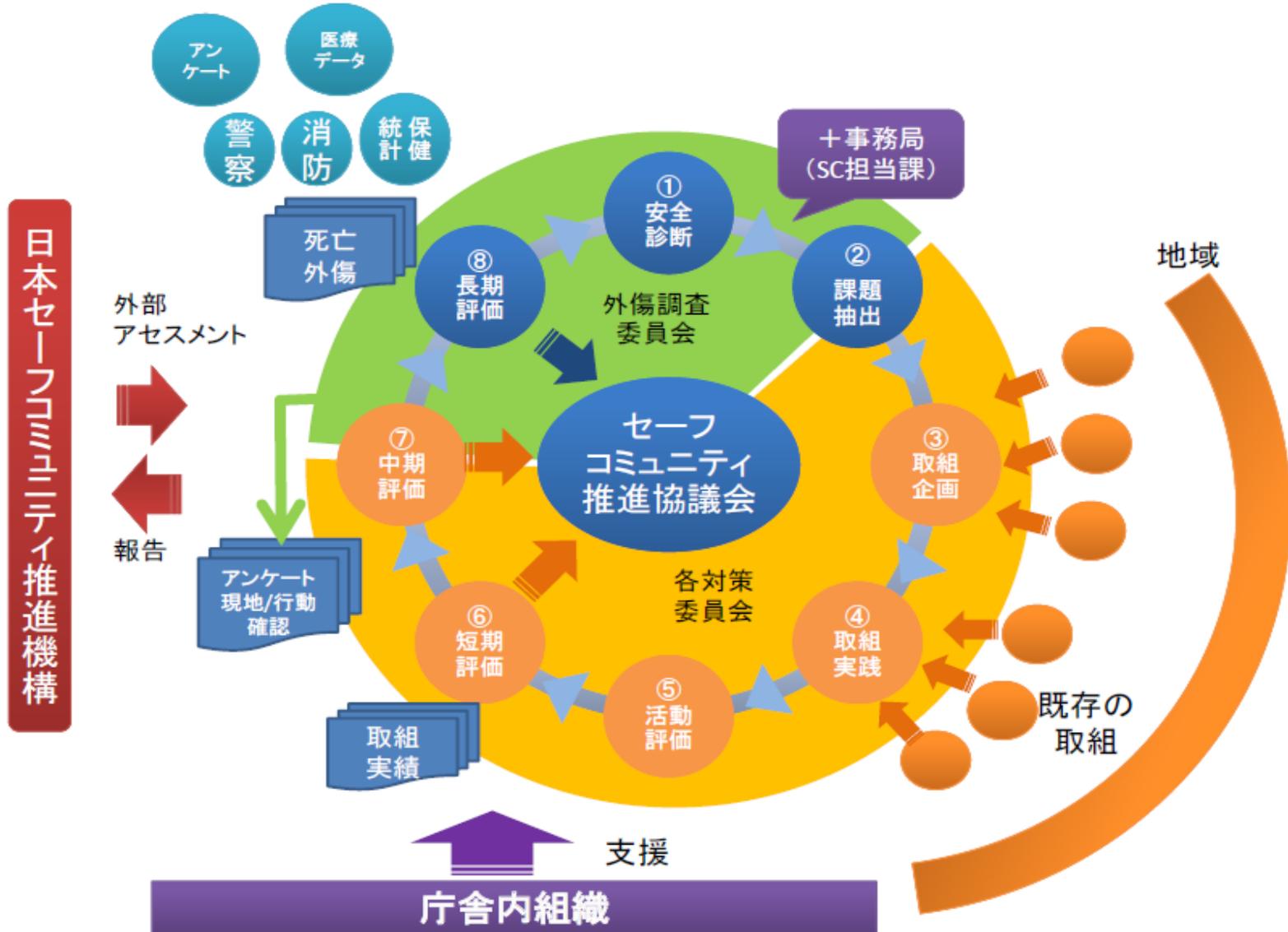


<対策委員会の取組みモデル②>

取組み	成果
取組み	成果
<p>取組1 (人に対する取組) 対 策: 茶トレの普及 実施主体: 包括支援センター、民生委員、健康推進員、在宅福祉員 対 象: 高齢者 取組内容: お茶の間でできる筋トレの普及 改善提案: 教室形式でなく、家庭で取り組む</p>	<p>成果1 活動指標: 茶トレ開催数、参加者数、指導者数 短期的な成果: 茶トレの認知度 中期的な成果: 茶トレの実践者数 長期的な成果: 転倒による受傷件数の減少</p>
<p>取組2 (環境に対する取組) 対 策: 住環境の整備 実施主体: 民生委員、老人クラブ、在宅福祉員、包括支援センター、市 取組内容: 住環境改善チラシの作成 改善提案: ケガの実態を調査して、反映</p>	<p>成果2 活動指標: パンフレット作成数、配布数 短期的な成果: 危険個所の認識 中期的な成果: 危険個所の改善 長期的な成果: 家庭内での受傷件数の減少</p>
<p>取組3 (人に対する取組) 対 策: 高齢者サロンづくり 実施主体: 町会、老人クラブ、在宅福祉員、民生委員、NPO、事業者 取組内容: 高齢者同士で見守りできるサロンを設置 改善提案: モデルケースを他地域に拡大</p>	<p>成果2 活動指標: 実態調査、サロン設置数 短期的な成果: 設置件数 中期的な成果: 参加者数 長期的な成果: 高齢者の不安の軽減</p>



指標6 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み



指標4・5・6

外傷サーベイランス委員会の設置

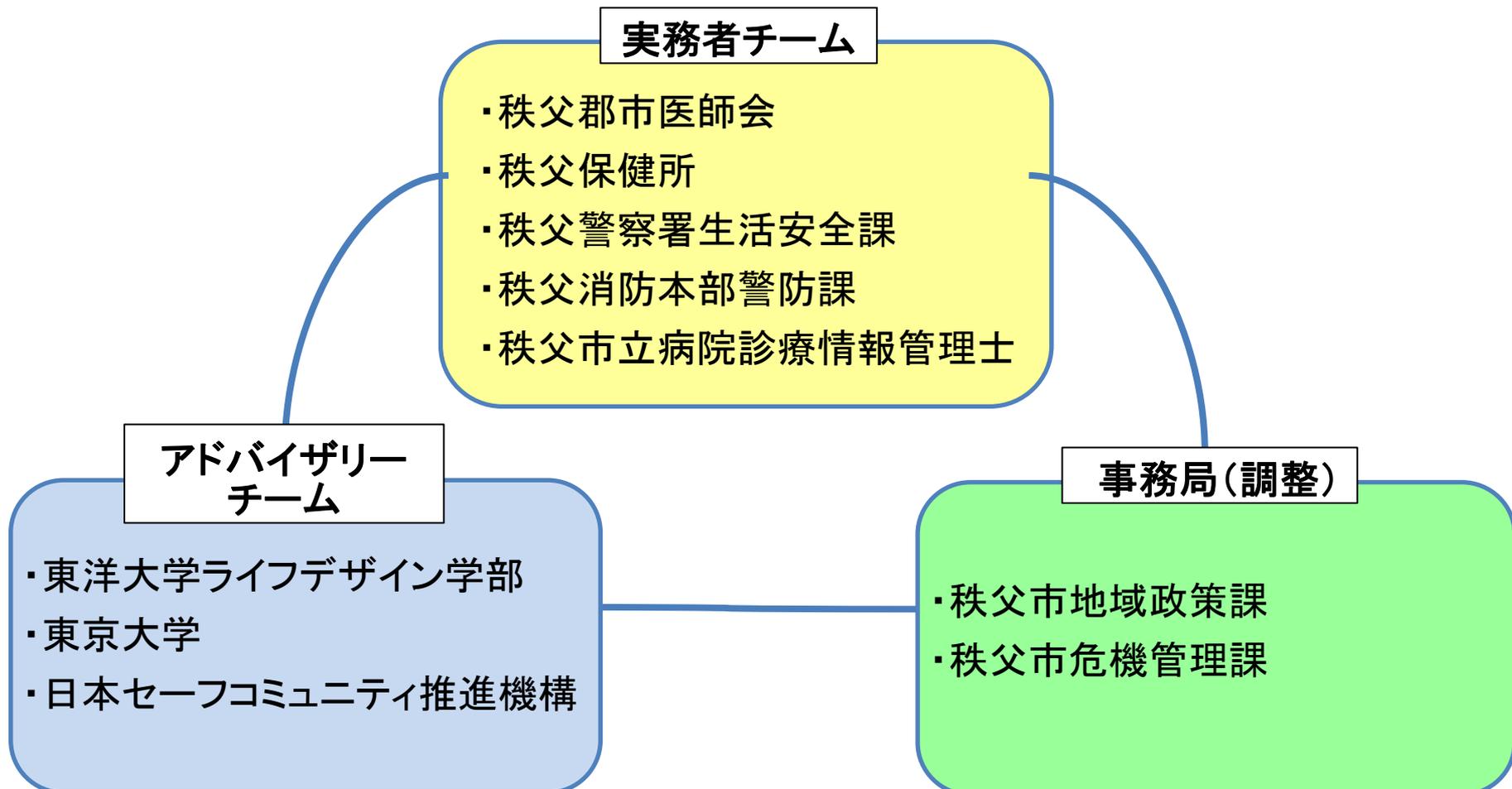


- 設置: 2014年2月
- 委員長: 秩父郡市医師会医師
- 委員数: 10人
- 役割: ①対策委員会の取組みが根拠に基づいた活動となるよう助言する
- ②予防活動の成果指標についての検証
- ③活動に関する情報の提供

指標4・5・6

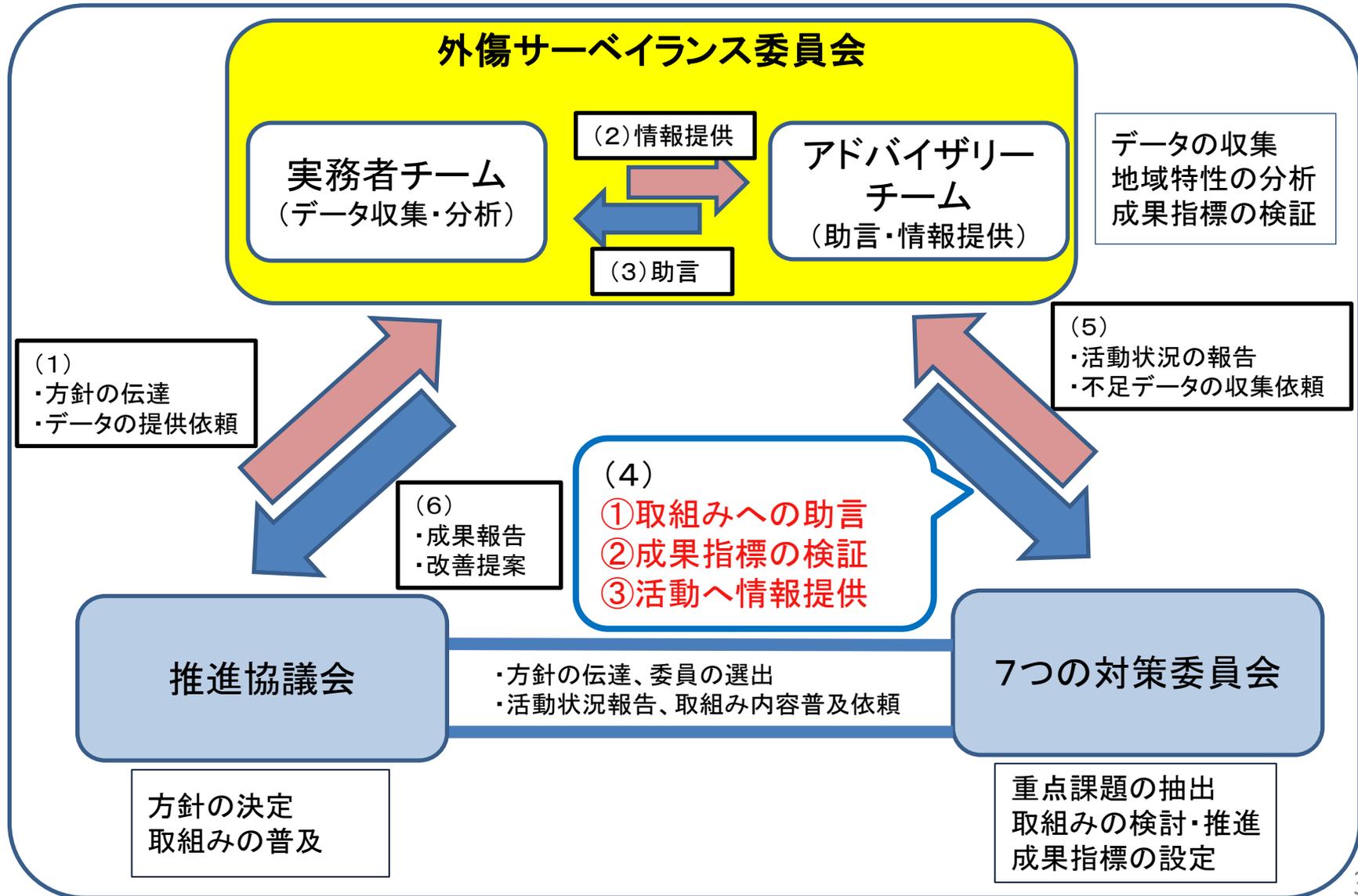
外傷サーベイランス委員会の概要①

委員構成





指標4・5・6 外傷サーベイランス委員会の概要②





指標7 国内外のセーフコミュニティ ネットワークへの継続的な参加

＜主なネットワークへの参加状況＞ 国内すべての推進自治体と交流

年月	参加内容	国際	国内
2012年10月	亀岡市セーフコミュニティ再認証現地審査視察		○
2012年11月	豊島区セーフコミュニティ認証式典参加		○
2012年11月	第6回アジア地域セーフコミュニティ会議参加(豊島区)	○	
2012年12月	小諸市セーフコミュニティ認証式典参加		○
2013年1月	横浜市栄区セーフコミュニティ現地審査視察		○
2013年5月	箕輪町セーフコミュニティ1周年記念事業参加		○
2013年11月	松原市セーフコミュニティ認証式典参加		○
2013年12月	久留米市セーフコミュニティ認証式典参加		○
2014年5月	第7回アジア地域セーフコミュニティ会議参加(釜山市)	○	
2014年5月	甲賀市セーフコミュニティ事前審査視察		○
2014年10月	鹿児島市セーフコミュニティ事前審査視察		○
2014年10月	厚木市セーフコミュニティ再認証事前審査視察		○
2015年2月	十和田市セーフコミュニティ再認証式典参加		○
2015年2月	北本市セーフコミュニティ認証式典参加		○

※このほか、セーフコミュニティ定例会議、研修会等にも参加している。



ありがとうございました！